



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 藤倉化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗原 進 TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,530	2.0	222	82.9	355	73.9	133	85.4
2022年3月期第2四半期	25,032	17.6	1,299		1,361		914	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,528百万円 (20.6%) 2022年3月期第2四半期 2,096百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	4.22	
2022年3月期第2四半期	28.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	56,155	40,489	66.7
2022年3月期	52,763	38,520	67.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 37,481百万円 2022年3月期 35,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		8.00		8.00	16.00
2023年3月期		8.00			
2023年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	9.9	800	34.9	1,100	24.1	400	46.0	12.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	32,716,878 株	2022年3月期	32,716,878 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,427,514 株	2022年3月期	887,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	31,623,807 株	2022年3月期2Q	31,829,164 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年11月11日(金)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気の緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に加え、自動車生産台数の減少、原材料価格の高騰などの影響を大きく受けており、今後も予断を許さない状況が続くものと思われま。海外経済におきましても、ウクライナ情勢の長期化に加え、世界的な半導体不足、エネルギー価格の高騰などもあり、今後も先行き不透明な状況で推移するものと思われま。各セグメントにおきまして、原材料価格の高騰を受けて収益が圧迫される結果となりました。価格交渉をはじめとした収益改善の取り組みを進めてまいります。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は255億30百万円（前年同期比2.0%増）となり、営業利益は2億22百万円（同82.9%減）、経常利益は3億55百万円（同73.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億33百万円（同85.4%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け塗料は、主要顧客の減産の影響などにより国内の需要は低調に推移いたしました。海外では、生産台数の回復と値上げ効果もあり売上は堅調に推移いたしました。非自動車分野におきましては、ホビー用塗料が中国のロックダウンの影響を受け、販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は131億6百万円（同11.6%増）となり、営業利益は99百万円（同86.7%減）となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新築向け塗料の販売は、一部顧客のウッドショックなどによる受注制限の影響で、前年比で微減となりました。リフォーム向け塗料の販売は、主要顧客において高耐久化や外壁のタイル化により塗り替え対象物件が減少していることを受け、需要が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は59億21百万円（同5.6%減）となり、営業利益は1億66百万円（同58.8%減）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、パソコン向け製品の販売は需要の低下、車載向け製品の販売は顧客の減産により低調に推移いたしました。IoT家電向け製品の販売は、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は17億50百万円（同15.9%減）となり、営業利益は24百万円（同70.2%減）となりました。

④ 化成品

トナー用レジン、樹脂ベース（『アクリベース』）やメディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、海外向けのトナー用レジンの販売及び壁紙用の粘着剤の販売が堅調に推移いたしました。また、メディカル材料分野では、リウマチ検査薬の販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は21億70百万円（同8.4%増）となり、営業損失は25百万円（前年同四半期は営業利益1億16百万円）となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、車載用製品やリチウムイオン電池用製品の販売は好調に推移いたしました。液晶テレビ用製品や樹脂原料の販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は26億31百万円（同11.8%減）となり、営業損失は42百万円（前年同四半期は営業損失46百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ33億92百万円（前連結会計年度末比6.4%）増加し、561億55百万円となりました。

① 流動資産

売掛金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ21億17百万円（同6.8%）増加し、333億67百万円となりました。

② 固定資産

有形固定資産の増加及び投資有価証券の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ12億74百万円（同5.9%）増加し、227億88百万円となりました。

③ 流動負債

支払手形及び買掛金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ13億73百万円（同12.4%）増加し、124億81百万円となりました。

④ 固定負債

退職給付に係る負債の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ49百万円（同1.6%）増加し、31億86百万円となりました。

⑤ 純資産

為替換算調整勘定の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ19億70百万円（同5.1%）増加し、404億89百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の67.8%から66.7%へと1.1ポイント減少となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より73円50銭増加し、1,197円89銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億73百万円減少し、119億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が3億55百万円であったものの、法人税等の支払が3億44百万円であったこと及び売上債権が増加したことなどにより、2億95百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は13億4百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出6億15百万円、無形固定資産の取得による支出63百万円などにより、8億2百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は5億51百万円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加により1億67百万円の収入があったものの、自己株式の取得により2億56百万円の支出、配当金により2億55百万円の支出などがあったため、5億32百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は3億94百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想は、2022年10月28日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,530,833	12,722,751
受取手形	932,142	862,473
売掛金	8,926,459	10,373,033
商品及び製品	4,108,863	4,512,657
仕掛品	87,598	133,226
原材料及び貯蔵品	2,931,719	3,890,663
その他	881,876	1,039,356
貸倒引当金	△149,510	△166,847
流動資産合計	31,249,980	33,367,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,106,667	13,710,872
減価償却累計額	△7,520,642	△7,868,426
建物及び構築物 (純額)	5,586,025	5,842,446
機械装置及び運搬具	15,048,666	15,865,828
減価償却累計額	△12,702,086	△13,446,260
機械装置及び運搬具 (純額)	2,346,580	2,419,568
工具、器具及び備品	5,313,265	5,396,124
減価償却累計額	△4,536,173	△4,620,306
工具、器具及び備品 (純額)	777,092	775,818
土地	4,550,638	4,649,658
リース資産	778,595	844,733
減価償却累計額	△386,730	△453,139
リース資産 (純額)	391,865	391,594
建設仮勘定	340,671	682,953
有形固定資産合計	13,992,871	14,762,037
無形固定資産		
ソフトウェア	134,690	157,883
その他	844,033	984,711
無形固定資産合計	978,723	1,142,594
投資その他の資産		
投資有価証券	3,150,865	3,337,056
長期貸付金	199,847	197,407
繰延税金資産	525,944	542,773
その他	2,805,080	2,944,232
貸倒引当金	△139,938	△138,323
投資その他の資産合計	6,541,798	6,883,145
固定資産合計	21,513,392	22,787,776
資産合計	52,763,372	56,155,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,031,797	6,080,336
短期借入金	2,911,290	3,333,294
リース債務	102,033	104,601
未払法人税等	277,144	117,389
未払費用	1,025,169	1,054,986
賞与引当金	608,896	627,486
その他	1,150,914	1,162,418
流動負債合計	11,107,243	12,480,510
固定負債		
リース債務	169,148	149,828
繰延税金負債	113,206	127,977
退職給付に係る負債	2,394,572	2,439,461
長期未払金	109,316	109,204
その他	350,368	359,059
固定負債合計	3,136,610	3,185,529
負債合計	14,243,853	15,666,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	24,259,147	24,138,011
自己株式	△524,976	△780,711
株主資本合計	34,126,491	33,749,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	552,498	657,056
為替換算調整勘定	1,118,815	3,125,317
退職給付に係る調整累計額	△9,370	△50,870
その他の包括利益累計額合計	1,661,943	3,731,503
非支配株主持分	2,731,085	3,007,926
純資産合計	38,519,519	40,489,049
負債純資産合計	52,763,372	56,155,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	25,032,164	25,529,705
売上原価	17,237,705	18,430,967
売上総利益	7,794,459	7,098,738
販売費及び一般管理費	6,495,671	6,876,672
営業利益	1,298,788	222,066
営業外収益		
受取利息	12,981	29,976
受取配当金	23,262	36,761
固定資産賃貸料	35,234	33,504
持分法による投資利益	10,071	13,568
為替差益	-	12,206
その他	69,139	64,485
営業外収益合計	150,687	190,500
営業外費用		
支払利息	24,569	28,902
為替差損	40,666	-
固定資産除却損	2,436	16,644
その他	21,051	12,147
営業外費用合計	88,722	57,693
経常利益	1,360,753	354,873
税金等調整前四半期純利益	1,360,753	354,873
法人税、住民税及び事業税	392,247	179,143
法人税等調整額	△34,122	△58,326
法人税等合計	358,125	120,817
四半期純利益	1,002,628	234,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	88,498	100,559
親会社株主に帰属する四半期純利益	914,130	133,497

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,002,628	234,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163,819	104,341
為替換算調整勘定	847,640	2,257,301
退職給付に係る調整額	114,909	△41,500
持分法適用会社に対する持分相当額	△33,457	△26,184
その他の包括利益合計	1,092,911	2,293,958
四半期包括利益	2,095,539	2,528,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,932,298	2,203,057
非支配株主に係る四半期包括利益	163,241	324,957

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,360,753	354,873
減価償却費	724,638	714,120
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28,081	△81,836
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62,013	11,537
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,587	301
受取利息及び受取配当金	△36,243	△66,737
支払利息	24,569	28,902
売上債権の増減額 (△は増加)	2,757,933	△842,487
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△837,801	△759,943
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△124,043	△73,663
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,474,162	731,738
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△25,730	9,737
その他	20,457	△24,430
小計	1,457,878	2,112
利息及び配当金の受取額	36,334	66,737
利息の支払額	△24,362	△25,679
法人税等の支払額	△310,287	△343,885
法人税等の還付額	144,195	5,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,303,758	△294,750
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△194,220	△817,990
定期預金の払戻による収入	568,600	634,480
有形固定資産の取得による支出	△856,398	△614,606
無形固定資産の取得による支出	△13,522	△62,745
投資有価証券の取得による支出	△4,739	△1,722
その他	△51,114	60,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△551,393	△801,990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	167,208
リース債務の返済による支出	△49,623	△68,516
自己株式の取得による支出	-	△255,735
配当金の支払額	△254,633	△254,633
非支配株主への配当金の支払額	△89,246	△120,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393,502	△532,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	216,412	555,359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	575,275	△1,073,392
現金及び現金同等物の期首残高	11,782,017	12,974,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,357,292	11,901,386

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式539,800株を255,735千円で取得しました。

この自己株式の取得により、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は780,711千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	11,743,869	6,268,775	2,080,059	2,000,980	2,938,481	25,032,164
外部顧客への売上高	11,743,869	6,268,775	2,080,059	2,000,980	2,938,481	25,032,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	-	-	155	43,226	43,397
計	11,743,885	6,268,775	2,080,059	2,001,135	2,981,707	25,075,561
セグメント利益又は損失(△)	745,131	401,964	81,709	116,081	△46,269	1,298,616

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,298,616
セグメント間取引消去	172
四半期連結損益計算書の営業利益	1,298,788

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高 顧客との契約から生じる収益	13,106,107	5,920,838	1,750,019	2,169,631	2,583,110	25,529,705
外部顧客への売上高	13,106,107	5,920,838	1,750,019	2,169,631	2,583,110	25,529,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	133	47,513	47,646
計	13,106,107	5,920,838	1,750,019	2,169,764	2,630,623	25,577,351
セグメント利益又は損失(△)	98,955	165,646	24,343	△25,094	△41,672	222,178

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	222,178
セグメント間取引消去	△112
四半期連結損益計算書の営業利益	222,066

(重要な後発事象)

該当事項はありません。